

## ●鹿児島県●

# 長期入院精神障害者の 地域移行推進に向けて

鹿児島県では、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業」を活用し、精神障害者をピアサポーターとして養成し、一般相談支援事業所で地域移行支援スタッフとして活用しながら、1年以上の長期入院精神障害者の地域移行支援を実施する。

1 県又は政令市の基礎情報

鹿児島県



取組内容

- ・「精神障害者地域移行・地域定着推進研修会」の実施
- ・保健所単位で「精神障害者地域移行・地域定着推進会議」を開催し、地域課題や課題解決に向けた取組を検討
- ・ピアサポーター養成講座の開催
- ・ピアサポーターを活用した長期入院精神障害者の地域移行支援（精神科病院での体験発表、退院希望者への支援等）
- ・保健・医療・福祉関係者による協議の場の開催

基本情報（都道府県等情報）

障害保健福祉圏域数（H30年4月時点）	7	か所		
市町村数（H30年4月時点）	43	市町村		
人口（H30年4月時点）	1,616,005	人		
精神科病院の数（H30年4月時点）	51	病院		
精神科病床数（H29年6月時点）	9,485	床		
入院精神障害者数 （H29年6月時点）	合計	8,440 人		
	3か月未満（％：構成割合）	1,090 人		
		129 %		
	3か月以上1年未満 （％：構成割合）	1,742 人		
		206 %		
	1年以上（％：構成割合）	5,608 人		
		664 %		
	うち65歳未満	2,005 人		
	うち65歳以上	3,603 人		
退院率（H29年3月時点）	入院後3か月時点	589 %		
	入院後6か月時点	77.5 %		
	入院後1年時点	87.1 %		
相談支援事業所数 （H29年4月時点）	基幹相談支援センター数	8 か所		
	一般相談支援事業所数	68 か所		
	特定相談支援事業所数	171 か所		
保健所数（H30年4月時点）	14	か所		
（自立支援）協議会の開催頻度（H29年度）	（自立支援）協議会	2 回/年		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（H30年1月時点）	都道府県	有	1	か所
	障害保健福祉圏域	有	7 / 7	か所/障害圏域数
	市町村	有	26 / 43	か所/市町村数

	3ヶ月未満入院者数		3か月以上1年未満入院者数		1年以上入院者数		政策効果による地域移行数（目標値）	合計	
平成27年6月末	1,342	人	1,415	人	5,944	人		591	人
平成28年6月末	1,407	人	1,431	人	5,851	人	人		8,689 人
平成29年6月末	1,090	人	1,742	人	5,608	人	人		8,440 人
平成32年度末		人		人		人	2,013	人	人
平成36年度末		人		人		人		人	人



### 3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

#### 1 研修会の実施

県の主催で、病院・相談支援事業所・行政等を対象にした研修会を実施

- (1) 平成24年度：地域移行・地域定着支援についての講話, グループ討議
- (2) 平成25年度：アウトリーチ支援に係るシンポジウム, ピアサポートについての講話
- (3) 平成26年度：リカバリーとピアサポート人材育成に係るシンポジウム, 講話
- (4) 平成27年度：地域移行支援に係るシンポジウム, 地区ごとのグループ討議
- (5) 平成28年度：地域移行支援に係る講話, ピアサポーターによる活動報告
- (6) 平成29年度：ピアサポーターを活用した地域移行推進事業の関係者による活動報告, 地区ごとのグループ討議

#### 2 精神障害者地域移行・地域定着推進会議の開催（平成26年度～）

- (1) 平成28年度実績
  - ①事業実施圏域：13圏域
  - ②協議会開催回数：24回
  - ③事業実績：地域課題の分析, 課題解消のための取組
  
- (2) 平成29年度実績
  - ①事業実施圏域：13圏域
  - ②協議会開催回数：34回
  - ③事業実績：地域課題の分析, 課題解消のための取組

## 4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組における強みと課題

### 【特徴(強み)】

- 1 圏域によって違いはあるが、保健所が開催している地域移行・地域定着推進会議と市町村自立支援協議会の精神部会、地域移行部会との連携や協同開催等に取り組んでいる。
- 2 県精神保健福祉士協会が地域移行の研修や退院後生活環境相談員の質の向上に積極的に取り組む等協力的である。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する視点別の認識(取組)	
地域移行支援に積極的に取り組む相談支援事業所が少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアサポーター養成講座の実施</li> <li>・ピアサポーターを活用した長期入院精神障害者の地域移行支援</li> </ul>	行政	精神科病院等関係機関との調整 等
		精神科病院	ピアサポーターの受入, 退院希望者リストの情報提供, 協議の場への参加 等
		相談支援事業所	ピアサポーターの派遣・同行, 住居や障害福祉サービスの調整, 協議の場への参加 等
精神科病院, 相談支援事業所, 保健所の三者による地域移行へ向けた連携が十分といえない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健・医療・福祉関係者による協議の場の開催</li> </ul>	行政	関係機関との調整, 地域課題の整理・分析 等
		精神科病院	地域移行支援の個別事案の分析, 検討 等
		相談支援事業所	地域移行支援の個別事案の分析, 検討 等

課題解決の達成度を測る指標	指標の設定理由	現状値(H29)	目標値(H30)
①精神病床における1年以上長期入院患者数(人)	平成30年度からの障害福祉計画, 保健医療計画, 介護保険事業(支援)計画に共通のアウトカム指標(成果目標)であるため	5,608	5,411
②平成32年度末までに, 全ての市町村ごとに保健・医療・福祉関係者による協議の場を設置(力所)		26	32

## 5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた平成30年度の取組スケジュール

### 平成30年度の到達目標

1. ピアサポーターの養成・活用
2. 精神障害者の地域移行支援に関する研修の開催
3. 事業実施圏域(鹿児島圏域)における地域移行支援利用者目標値 73人

時期(月)	実施する内容	該当する 目標番号
平成30年7月	ピアサポーター養成講座の実施	1
平成30年8月	相談支援事業所によるピアサポーターの訓練開始 体験談の準備	1
平成30年9月～	精神科病院における体験談発表の開始 精神科病院による退院希望者リストの作成, 提供	1
平成30年10月 ～平成31年1月	ピアサポーターによる地域移行支援開始	1, 3
平成31年2月	戦略会議, 研修会の開催 (事業の成果・課題の報告, 来年度以降の方針の協議)	2, 3

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた指標の推移と目標値

NO	指標	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 32年度	平成 36年度
①	1年以上の精神科病院在院患者数(人) (各年6月30日現在)	5,944	5,851	—	5,017	—
②	各年度 地域移行支援利用者数(実人数)(人)	8	8	—	—	X
③	②のうち、退院した者の数(実人数)(人)	7	6	—	—	
④	ピアサポーターの養成者数(実人数)(人)	0	0	—	—	
⑤	④のうち、活動している者の数(実人数)(人)	0	0	—	—	
⑥	地域移行を促す基盤整備	X			1,107	
⑦	治療抵抗性統合失調症治療薬の普及					
⑧	認知症施策の推進					

目標値

【記入上の留意点】

- ③について ※利用年度の翌年度以降に退院した者については、利用年度に計上して下さい。  
※退院後に再入院となった者については、退院した者(1人)として計上して下さい。
- ⑤について ※養成年度以降に、実際の活動を開始した者については、養成年度へ計上して下さい。
- ⑥⑦⑧について ※障害福祉計画上に明記した地域移行者数(地域移行に伴う基盤整備量(利用者数))を踏まえ、記載して下さい。  
※⑥・⑦・⑧のそれぞれの値を分けて記載できない場合は、⑥+⑦+⑧の合計値を記載して下さい。